

一 貴人兼而ヨリ招待スルニハ、瀬戸天目成共、新キヲ用テ吉。

一 貴人御來儀ノ時、御膳夫二人勝手へ呼入、試サセルモノ也。

小座敷へ被爲入、御腰物床中へ上テ吉、御身近御家來一兩輩置テ吉、門外ニ亭主ノ方ノ番士二三輩置テ吉、次ノ間ニハ、硯料紙御手水ノ道具置、御枕、御衣桁、ハンザウ、手拭置也。

一 御前ニハ古圍爐裏ナシ、火鉢ニ釜ヲ掛タリ、御茶ハ何時モ臺子也。

一 眞釜ニテ茶立ル時ハ、柄杓ノ柄サキ、三フセモ、手一束モ出ス、圍爐裏ノ平釜ノ時ハ、柄先少シ出ス也。

一 拜領ノ物ハ初座に飭テ吉、頂戴ノ仕樣、諸具品々有之ベシ、筆にも不被盡所也、口傳、

〔茶道聞書集^甲〕流芳或時貴人を菓子茶湯に呼れ候時、勝手に菓子盛候時、相伴の菓子を先きへも、被申候。

流芳貴人を招かれし時、菓子の盛やう、相伴より先へせられしは、そ、らぬ爲にや猶考ふべし、貴人に茶を上る時、亭主草履をくゞりに不置、流芳貴人を招き候時、くゞり脇竹の下へ入置。

貴人の草履と、亭主の草履と並ぶを、遠慮有りしなるべし。

流芳貴人へ茶を上る時、圓坐一枚腰掛の上坐に置、二枚は下坐の方に重ね置き、烟管一本、吸口の處を紙にて包む、外の烟管は下に置。

此條も亭主の働き、深く考ふべし。

流芳貴人に茶を上る時、桑原の茶盃段々挨拶、其茶盃にて茶上る。

桑原茶盃茶事にも用ひたる跡なれども、格別の品なれば、貴人の御所望に任せ點茶せし成べし。

貴人を招き薄茶の時、貴人へ指上候茶盃で點、扱夫を外の茶盃に明ケ、相伴の衆へ出す。